

箱根組ニュース

第367号 2023年 11月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

1

雨の江ノ島二人旅、朝は強い雨も降るが昼からは青空も覗き丹沢や箱根の山も姿を現す！

10月15日(日)、小田急線新宿駅、7時21分発、快速急行藤沢行に乗車。

藤沢で小田急の片瀬江の島行きに乗り換える予定だったが気が変わって、江ノ電に乗り換える。

9時頃、江ノ電江ノ島駅に到着。朝から東京でもそれなりの雨だったが、江の島駅ではかなり強い雨になり風も強くなっていた。駅のホームで合羽を着てどうしようかと思っていたが、駅前のタリーズコーヒー店で時間をつぶそうということになった。

店内2階の広いスペースでのんびりとコーヒーを頂きながら窓の外の雨を見つめる。

10時頃、まだ雨は止んではないが、少し弱くなったようなので出発する。観光地の商店街らしい街中を進む。正面に江の島が見えると海岸だ。地下道をくぐり再び上に上がると弁天橋のたもとに着く。左側の波打ち際には波乗りの人がすでに何人も海に入っている。右の堤防には釣りをしている人も見える。天気も

良くないので人はまばらだ。それでも土産店や飲食店はすでに開店していたり、開店の準備をしているようだ。

橋を渡るとまず大きな青銅の鳥居をくぐる。そこからはお店が並んでいる。傘をさして両側の店を見ながら緩やかな坂道を進んで行く。目の前の階段の上に真っ赤な大きな鳥居、その奥には少し不思議な形の瑞心門が立っている。

江ノ島神社のHPを見ると次のように書いてある。

「日本三大弁財天を奉る江島神社は、田寸津比賣命を祀る「辺津宮」、市寸島比賣命を祀る「中津宮」、多紀理比賣命を祀る「奥津宮」の三社からなる御社です。」

つまり、手前の宮、中の宮、奥の宮に三女神をまつった三つの神社からなっているようだ。

瑞心門の左側には上り専用のエスカレーター「エスカー」があるが今日は利用しない。どうやらエスカーはトンネルの中を通っているようだ。

赤い鳥居をくぐって階段を上ると瑞



心門をくぐり道は左に曲がってゆく。

10時26分、広い大きな石段を登って行くと立派な一番目の神社の辺津宮に到着。右側に茅の輪くぐりがあり、これをくぐってからお参りする。

左方向へ先に進むと展望の開けた所に出る。江の島のヨットハーバーが眼下に見える。海に向こうには鎌倉方面が見えている。ヨットハーバー周辺を見ていると意外にも江の島の広さが実感できる。

10時36分、中津宮に到着。辺津宮が落ち着いた黒っぽい色だったが、こちらには鮮やかな朱色が特徴だ。

10時50分、奥に立派な展望灯台の江の島シーキャンドルが目立つ庭園のサムエル・コッキング苑に到着。園内にはいくつかの施設がありいたるところに無数のろうそくがあつて夜はさぞ見事なキャンドルショウになることだろう。その一番奥にあるのが園内のメインの展望灯台のシーキャンドルだ。高さ59.8mのガラス張りの作りは立派なものだ。

見た目はそれほど高く見えないが、登ってみると絶景が広がる。小雨になりかけているので、少し園内を見てから登ることにする。

入場料500円を支払ってエレベーターに乗り込む。登ってみるとやはり絶景だ。揺れているのがはつきり分かった。晴れていればもっと素晴らしかっただろう。

雨はほとんど止んでいたが昼食は海辺でということになって先に進むことになる。夕日茶屋という店があり丸焼きタコせんべいの文字が店名の横に大きく書いている。

展望灯台の付近が島の山頂部のようで先に進むと階段で少しずつ下ってゆく。道の左側には荒々しい岩場と海が広がっている。また別の島にきたような感じだ。少し下って数件のお店を過ぎると平坦になる。

11時32分、奥津宮に着。1182年、頼朝が寄進したという鳥居がそのまま

11月19日(日) 石老山 (702.8m)

レギュラーコース 3時間20分
(上り1時間45分、下り1時間35分)

久しぶりの石老山です。相模湖からバスで石老山登山口下車。顕鏡寺(トイレ有)、融合平見晴台經由山頂へ、奇妙な形をした礫岩(不動岩、仁王岩、駒立岩、鏡岩)が点在し楽しめます。下山は大明神展望台、箕石橋經由、キャンプ場の渡し舟で相模湖駅着の予定です。

○持ち物 お弁当、飲料水、カップ、非常食、傘、雨具、着替え、タオル、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 11月17日(金)

集合 11月19日(日) 京王線新宿駅
7時9分発 特急高尾山口行き
(前から3両目)

途中駅発 笹塚 7:14 明大前 7:17
千歳烏山 7:22 調布 7:28 府中 7:34
分倍河原 7:36 聖蹟桜ヶ丘 7:39 高幡不動 7:43

高尾 7:59着(JR乗換) 8:09発
普通甲府行き 相模湖 8:18着
バス乗り換え 8:35発(湖21)
三ヶ木行き 石老山入口 8:42着

交通費 バス代 240円
新宿~相模湖 片道 608円
渡し舟 700円位

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

立っている。社は木材そのままの落ち着いた色だ。奥津宮の手前の山門のような建物の天井には「八方睨みの亀」の天井絵がある。1803年に描かれた実物は社務所に保管されているそうだが、実際天井に飾られているものは1994年に描かれた復元画ということだ。

すぐ隣には龍宮（わだつみのみや）がある。石造りの建物の上に青銅色の龍が乗っている。

土産店の横を抜けて階段を降りてゆくと目の前に海が開ける。

11時40分、稚児ヶ淵。稚児ヶ淵レストハウスという2階建ての建物がある。一回は公衆トイレで二階が展望の休憩所だ。広くはないが座れるスペースがある。観光客

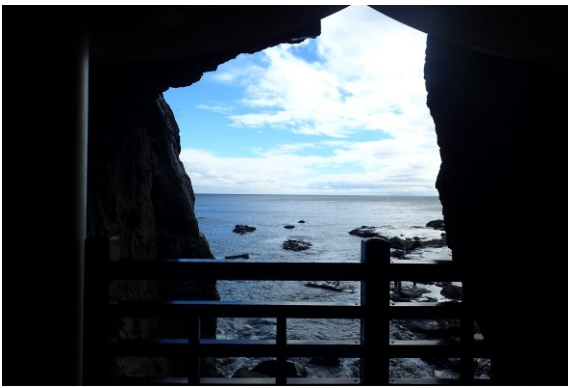


が少ないのでゆっくり座って昼食タイム。目の前の海の向こうには丹沢の大山、箱根の山々、左端には伊豆半島と思われ山並みが見える。雨

はすっかり上がって青空も見えていたが雲が広がっていて富士山は見えなかった。

1時頃、片付けて出発。せっかくだから江の島の岩屋を見て行こうということになった。江の島には何度か来ているが岩屋は見た記憶がない。岩場を見ながら南方向に進む。投げ釣りをしている人がいて釣りあがるところが見えた。

数分で岩屋の入り口だ。500円の入場料を支払うと小さなろうそくに火を点けてくれてそれを持たされる。あまり期待はしていなかったが想像以上にすごかった。一つ目の洞窟は途中で二つに分かれていて奥で反対側から出てくるように一方通行になっていた。かなり大



きな洞窟だが鍾乳洞ではない。波に侵食されて出来たということだがそれでこんな大きな洞窟が出来るのだろうかと驚いた。一つ目の洞窟を出るとさ

らに南側にもう一つの洞窟がある。これもなかなかのもので、岩屋はなかなかすごかった。

さて帰り道、弁天橋まで船で帰ろうと思っていたが、遊覧船のべんてん丸は欠航ということで同じ道に戻ることにした。先ほど下った道を登るのだが階段が意外に手ごたえがある。

シーキャンドル近くの南側の展望地は景色が開けて気持ちがいい。赤とんぼがたくさん群れて飛んでいた。天気が回復しているのだから皆さんの観光客が入れ替わり景色を見に来る。季節外れの桜かそれとも十月桜？が咲いている。

神社によらないで下っていくとあつという間に入口のお土産屋の通りだ。人、人で前に進むのが大変なほどだ。

行きに目を付けていたお店の「天海」に入ってみる。昼食から時間も立っていないのでお腹は空いていないが、それでも新鮮な魚を食べたいとビールとお刺身、それに名物の生シラスを注文する。観光地で期待はしていなかったが、これが意外に絶品だった。大満足で店を出る。弁天橋まで来ると人込みからは解放される。右側はサーファーがたくさん、左側は釣り人だ。

小田急線片瀬江の島駅から藤沢に出て、快速急行新宿行きで帰京。

